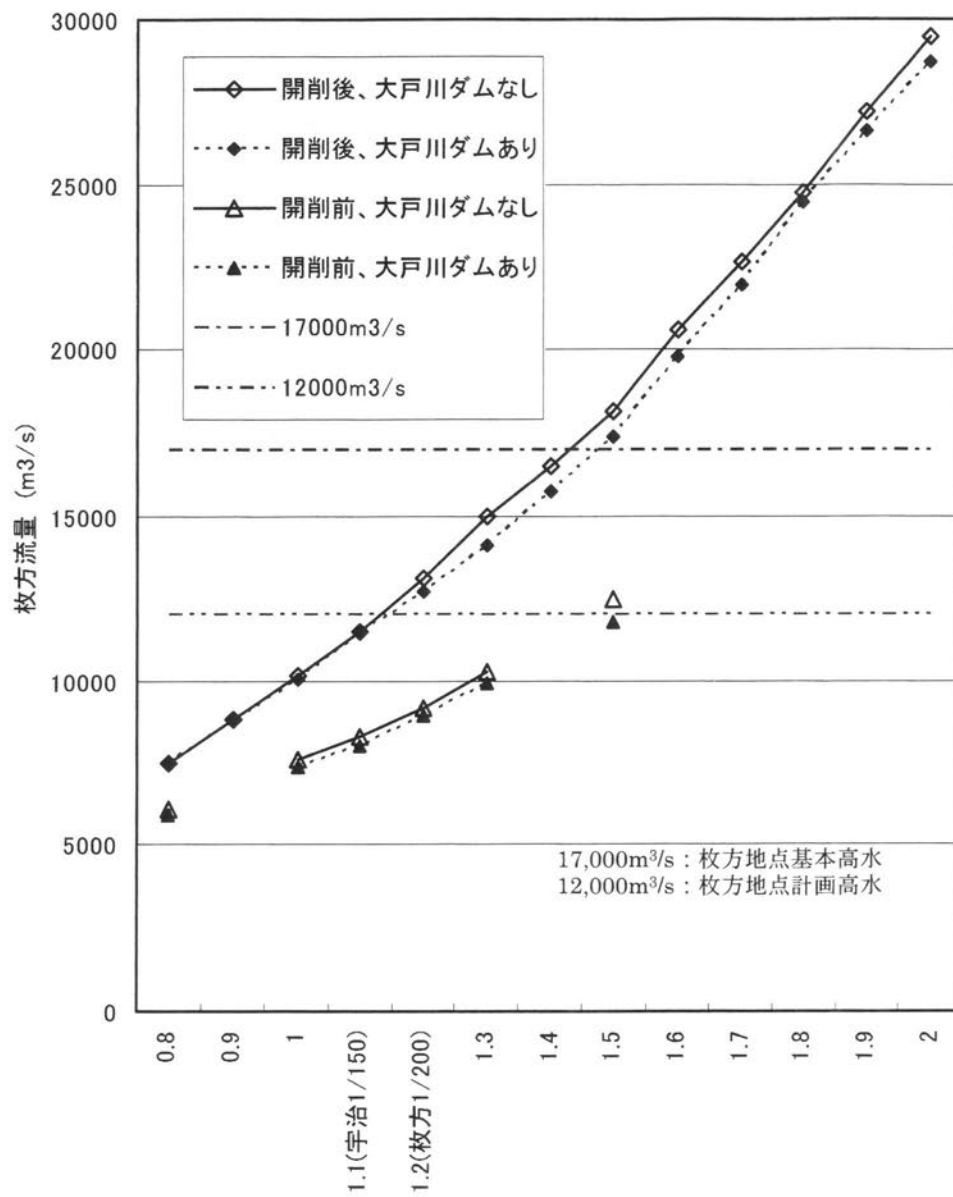


# ダムの調査・検討について (大戸川ダム)

平成16年12月1日  
近畿地方整備局

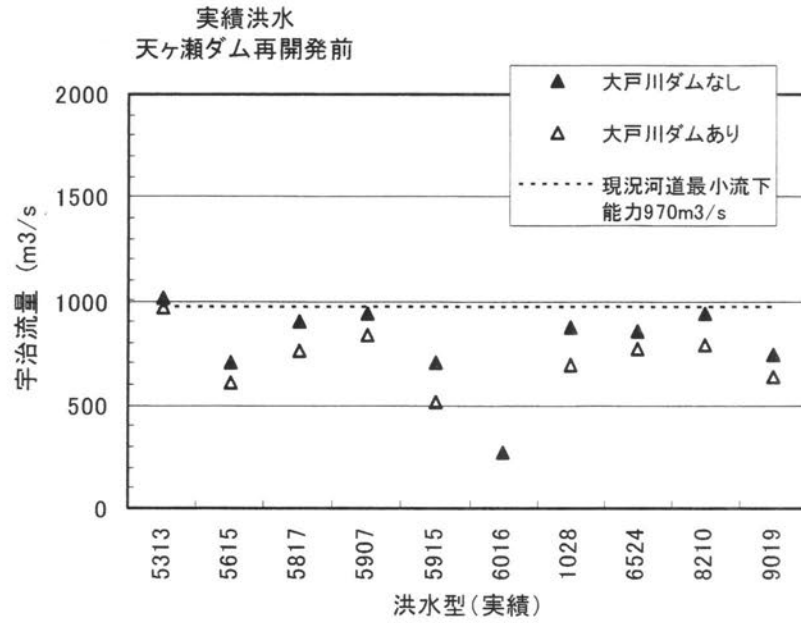
□従来計画と整備計画の基本的考え方

- 従来計画は、淀川洪水時および天ヶ瀬ダム洪水調節時における瀬田川洗堰の全閉（下流洪水時の瀬田川洗堰の全閉ルール）、また保津峡と岩倉峡の開削を前提に、大戸川ダムによる洪水調節が淀川、宇治川および大戸川における洪水量軽減に寄与することとしています。
- 宇治川および淀川の破堤危険性が高い現状から、下流洪水時の洗堰の全閉ルールは当面継続せざるを得ません。一方、桂川および木津川の破堤の危険性も高いことから、保津峡、岩倉峡の開削は当面実施することはできません。

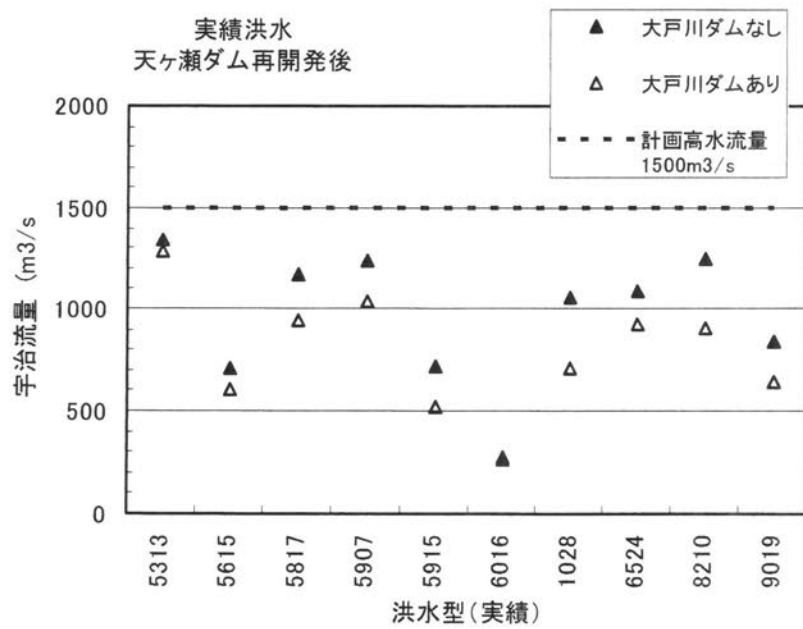


5313型降雨倍率

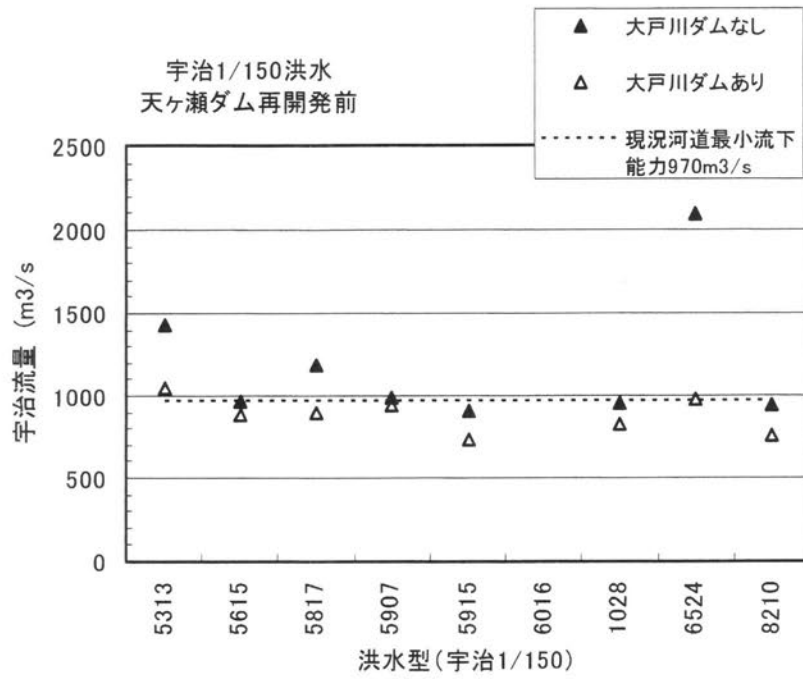
狭窄部開削後の5313型洪水の枚方地点流量



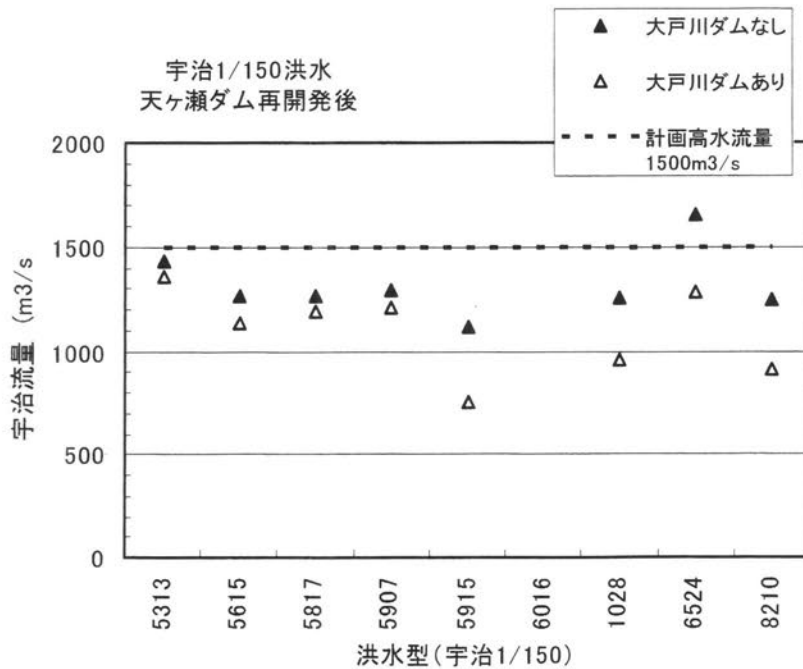
宇治川・宇治地点の実績洪水における大戸川ダムの効果  
(天ヶ瀬ダム再開発前)



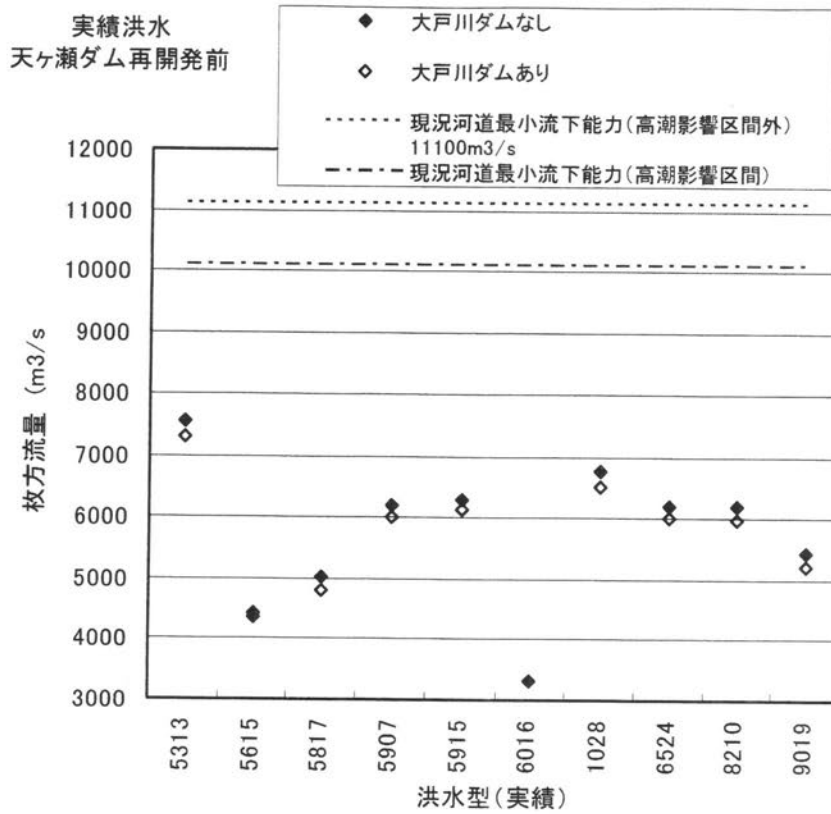
宇治川・宇治地点の実績洪水における大戸川ダムの効果  
(天ヶ瀬ダム再開発後)



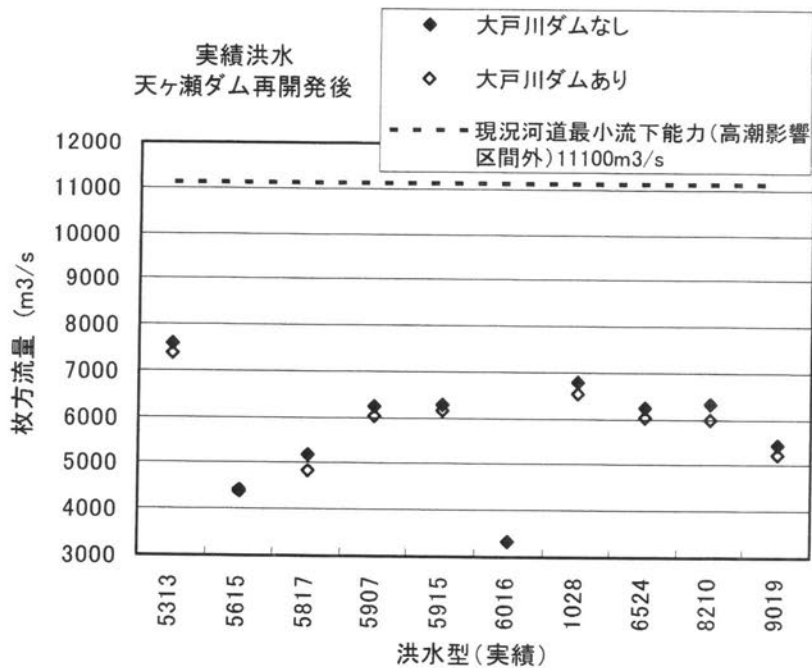
宇治川・宇治地点の1/150規模洪水における大戸川ダムの効果  
(天ヶ瀬ダム再開発前)



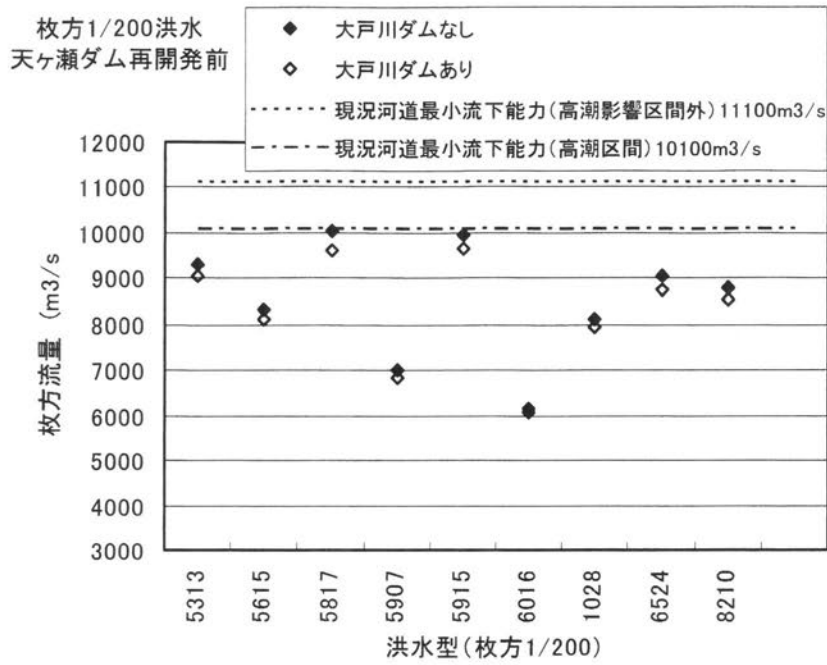
宇治川・宇治地点の1/150規模洪水における大戸川ダムの効果  
(天ヶ瀬ダム再開発後)



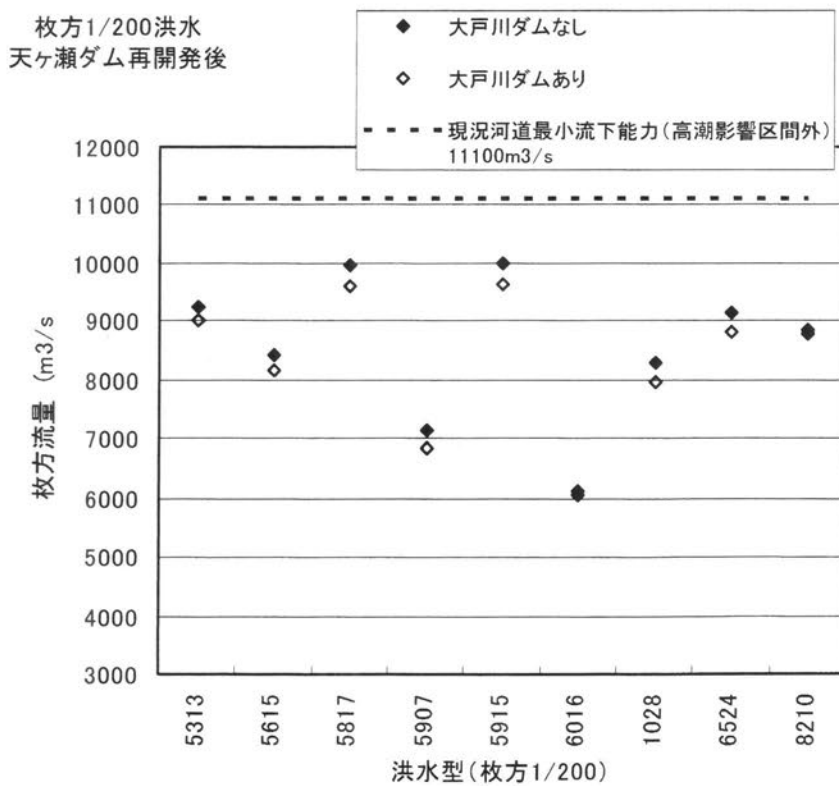
淀川・枚方地点の実績洪水における大戸川ダムの効果  
(天ヶ瀬ダム再開発前)



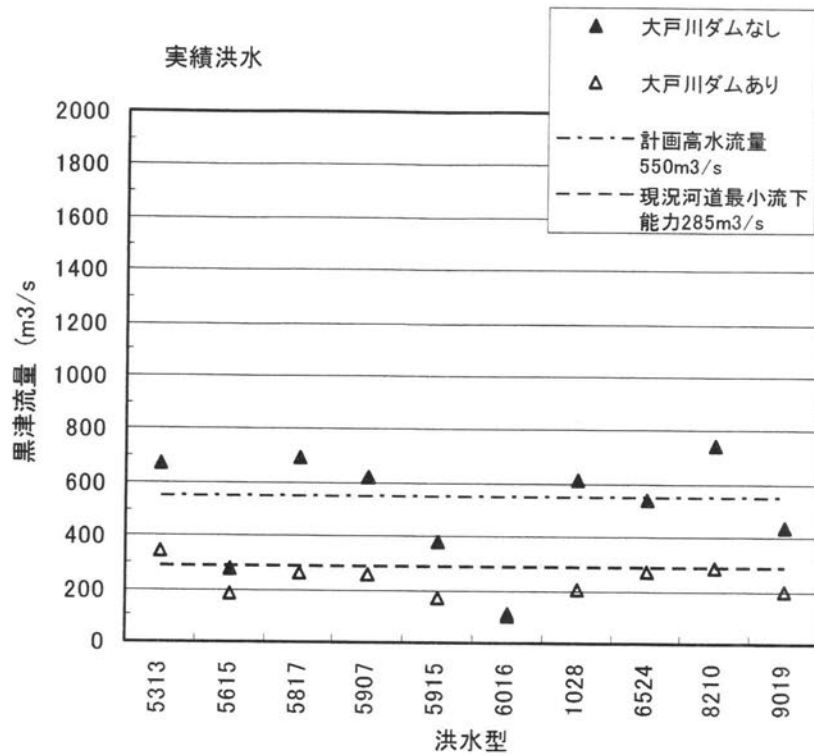
淀川・枚方地点の実績洪水における大戸川ダムの効果  
(天ヶ瀬ダム再開発後)



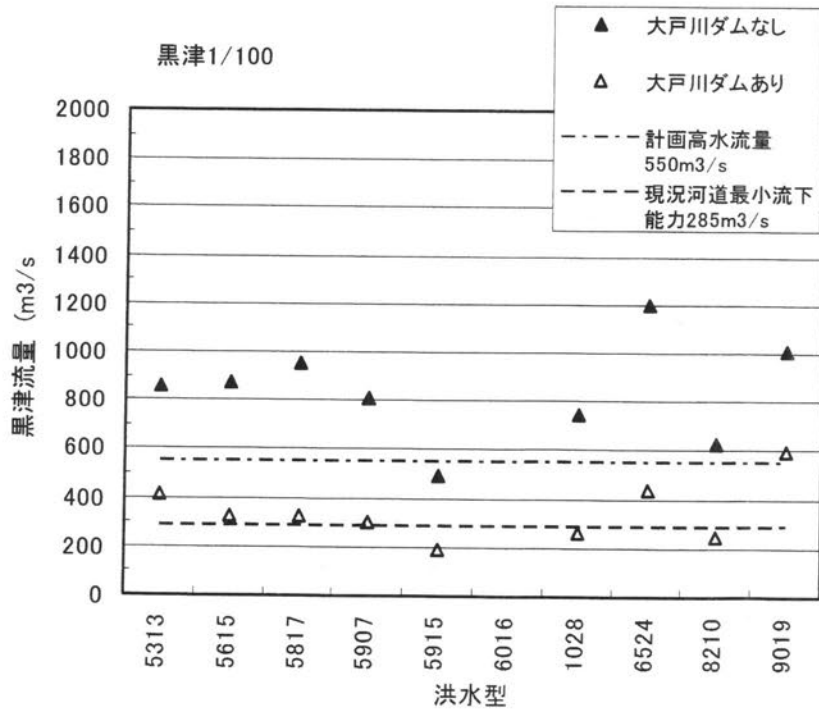
淀川・枚方地点の 1/200 規模洪水における大戸川ダムの効果  
(天ヶ瀬ダム再開発前)



淀川・枚方地点の 1/200 規模洪水における大戸川ダムの効果  
(天ヶ瀬ダム再開発前)



大戸川・黒津地点の実績洪水における大戸川ダムの効果  
(天ヶ瀬ダム再開発前)

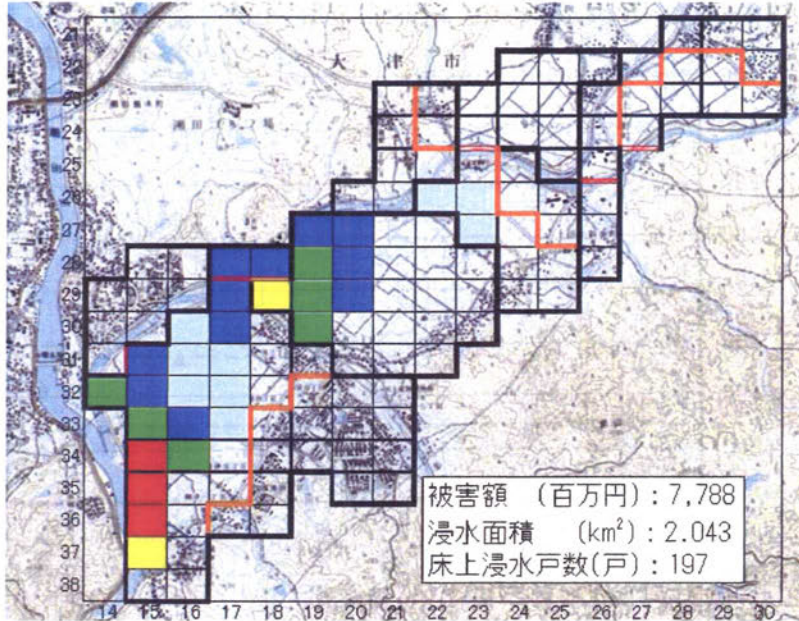


大戸川・黒津地点の実績洪水における大戸川ダムの効果  
(天ヶ瀬ダム再開発後)

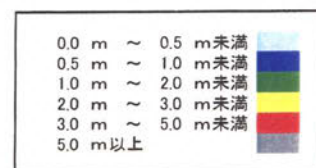
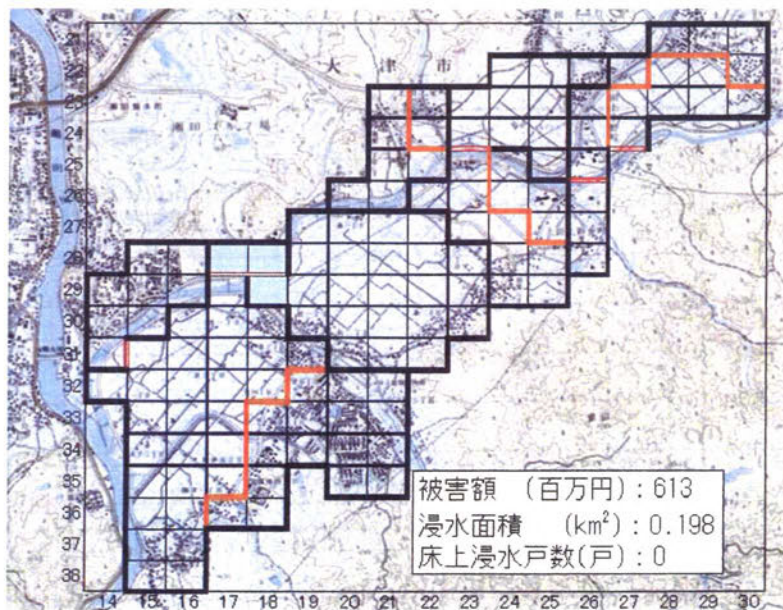


# 5 3 1 3型 1.0 倍実績

## ダムなし

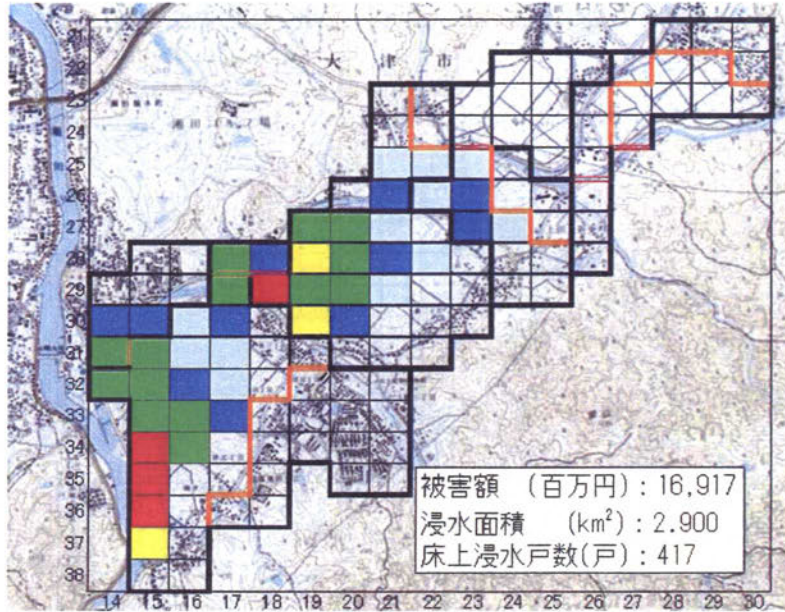


## ダムあり

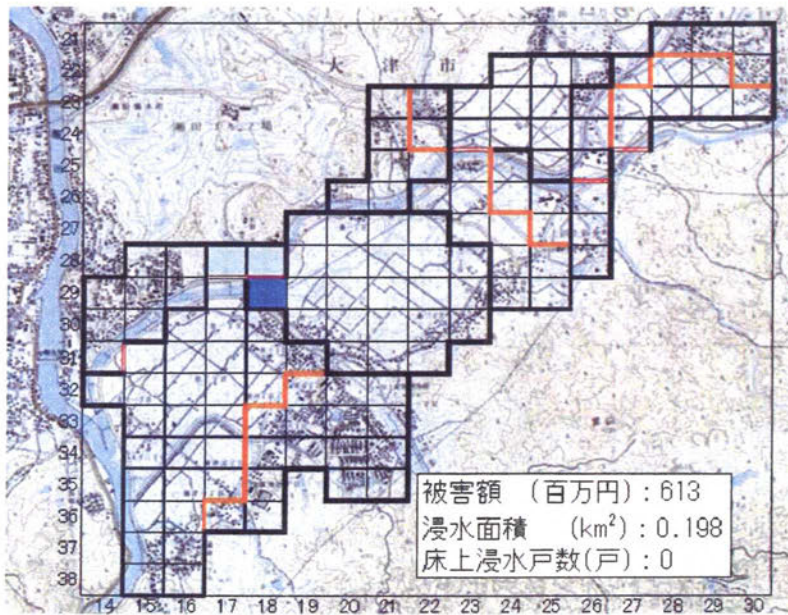


# 5 3 1 3 型 1/100

## ダムなし



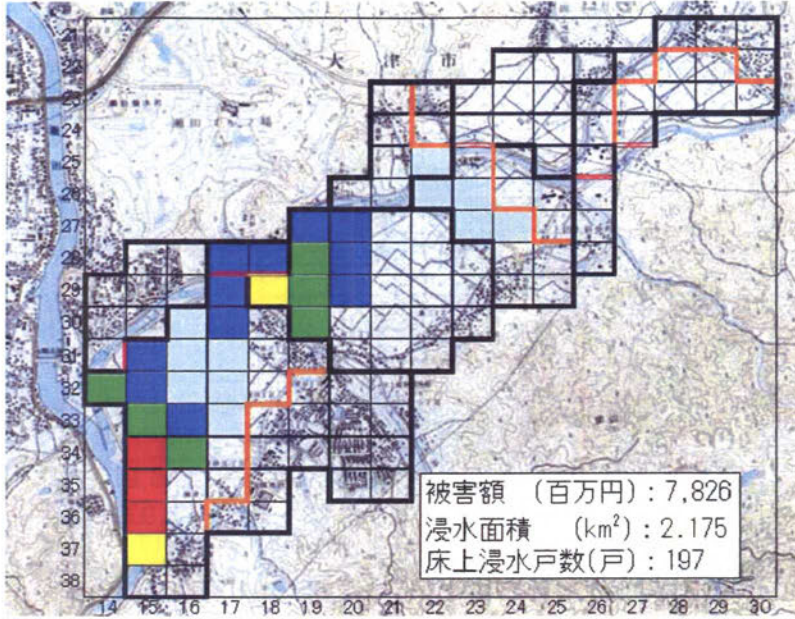
## ダムあり



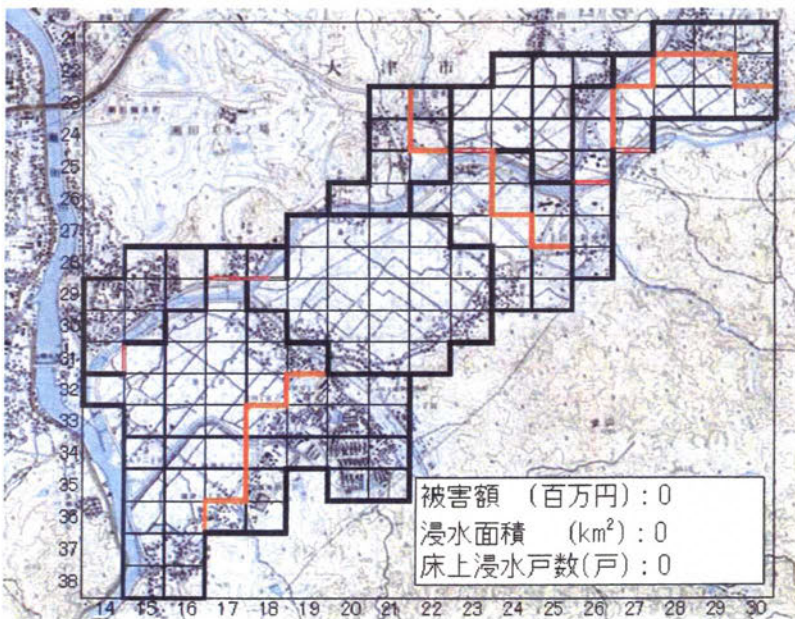
0.0 m ~ 0.5 m未満	■
0.5 m ~ 1.0 m未満	■
1.0 m ~ 2.0 m未満	■
2.0 m ~ 3.0 m未満	■
3.0 m ~ 5.0 m未満	■
5.0 m以上	■

# 5817型 1.0倍実績

## ダムなし



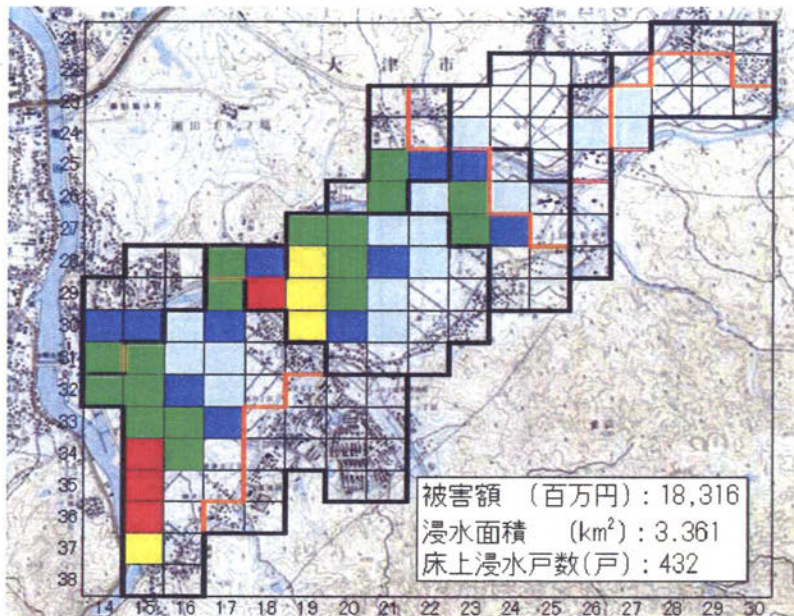
## ダムあり



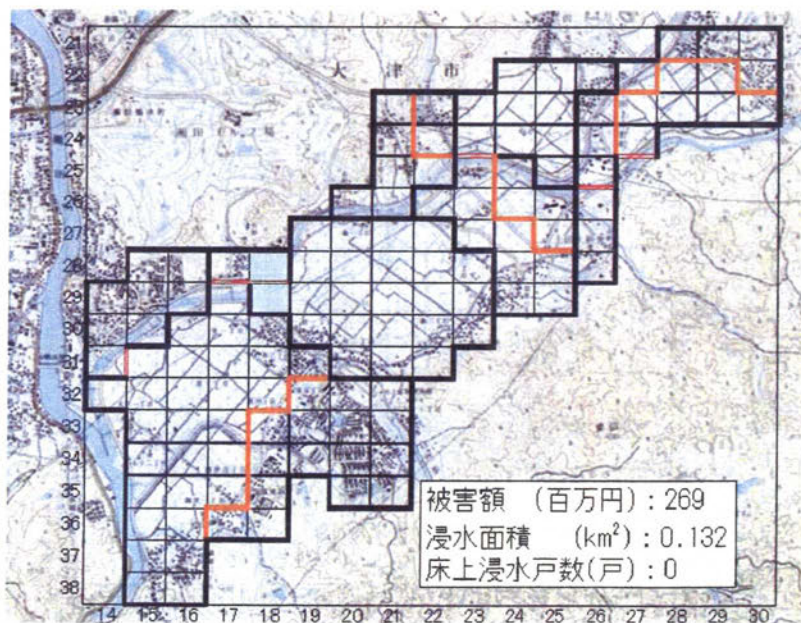
0.0 m ~ 0.5 m未満	0.5 m ~ 1.0 m未満	1.0 m ~ 2.0 m未満	2.0 m ~ 3.0 m未満	3.0 m ~ 5.0 m未満	5.0 m以上

# 5817型 1/100

## ダムなし



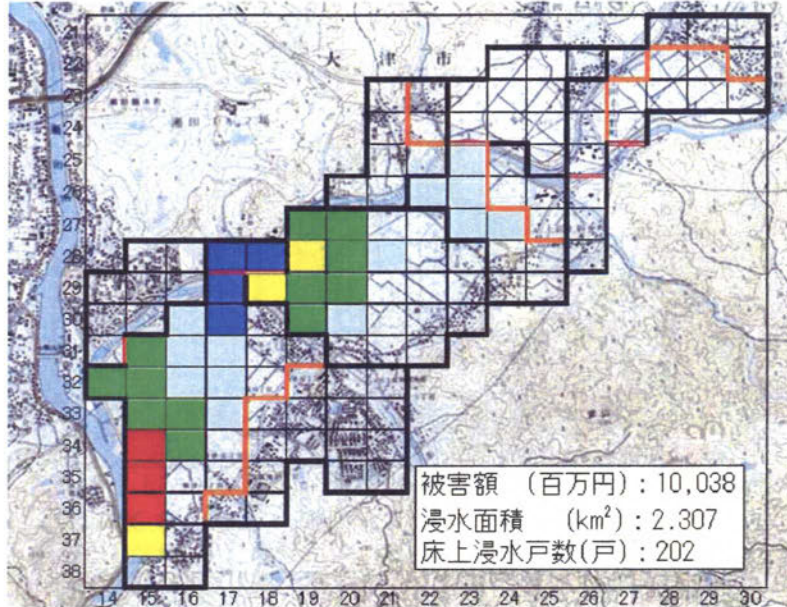
## ダムあり



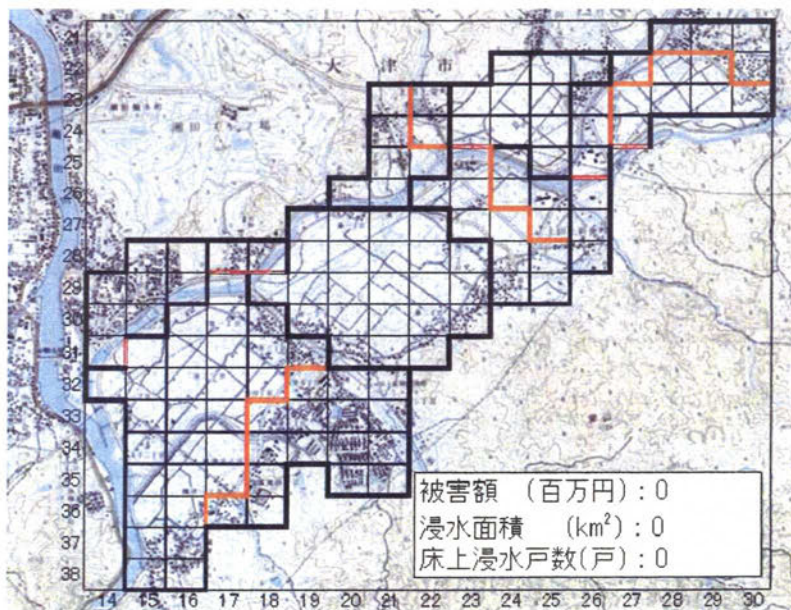
0.0 m ~	0.5 m 未満	
0.5 m ~	1.0 m 未満	■
1.0 m ~	2.0 m 未満	■
2.0 m ~	3.0 m 未満	■
3.0 m ~	5.0 m 未満	■
5.0 m 以上		■

# 8 2 1 0 型 1.0 倍実績

## ダムなし



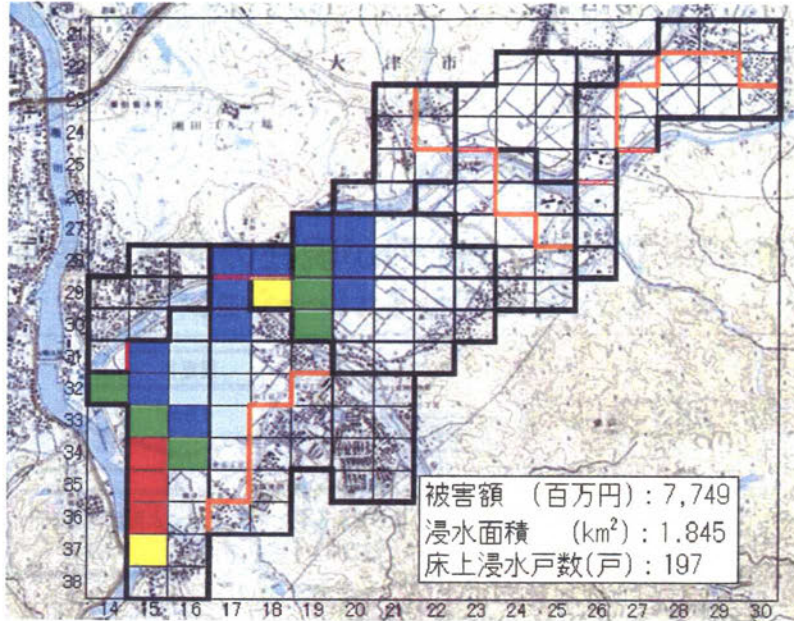
## ダムあり



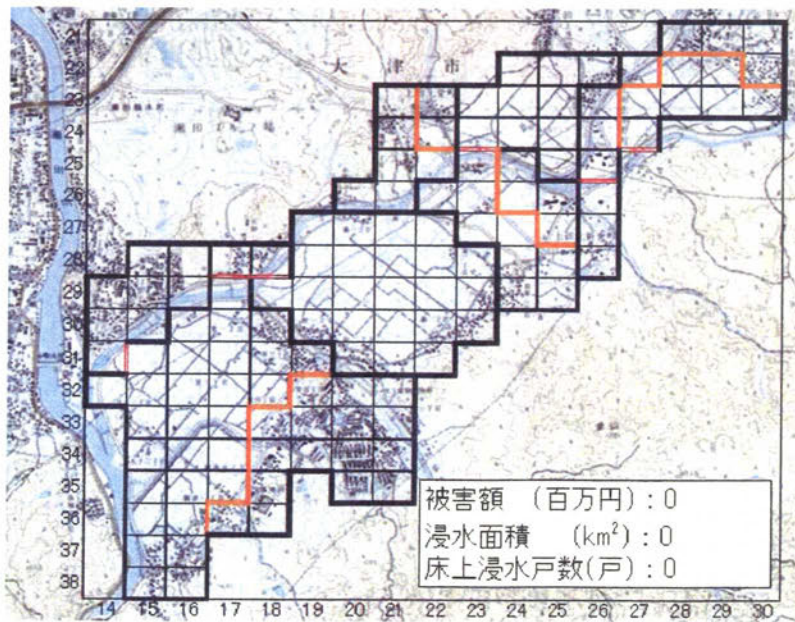
0.0 m ~	0.5 m 未満	■
0.5 m ~	1.0 m 未満	■
1.0 m ~	2.0 m 未満	■
2.0 m ~	3.0 m 未満	■
3.0 m ~	5.0 m 未満	■
5.0 m 以上		■

# 8 2 1 0 型 1/100

## ダムなし



## ダムあり

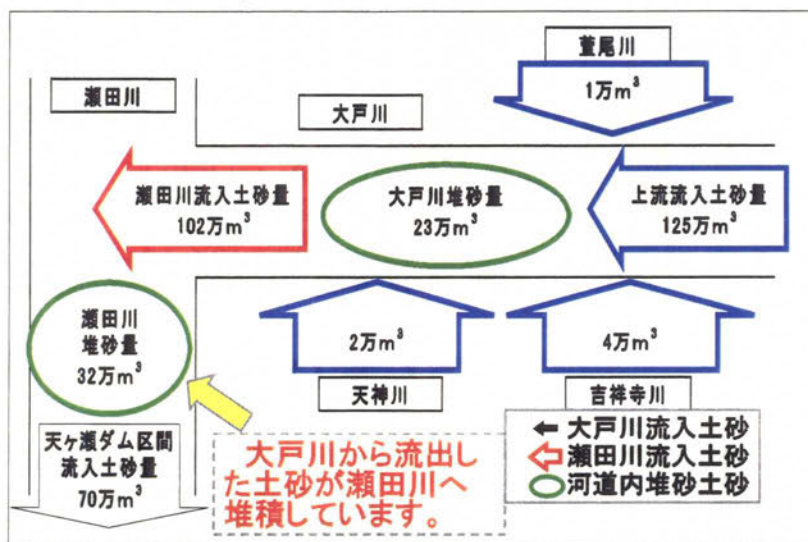


0.0 m ~	0.5 m未滿	
0.5 m ~	1.0 m未滿	
1.0 m ~	2.0 m未滿	
2.0 m ~	3.0 m未滿	
3.0 m ~	5.0 m未滿	
5.0 m以上		

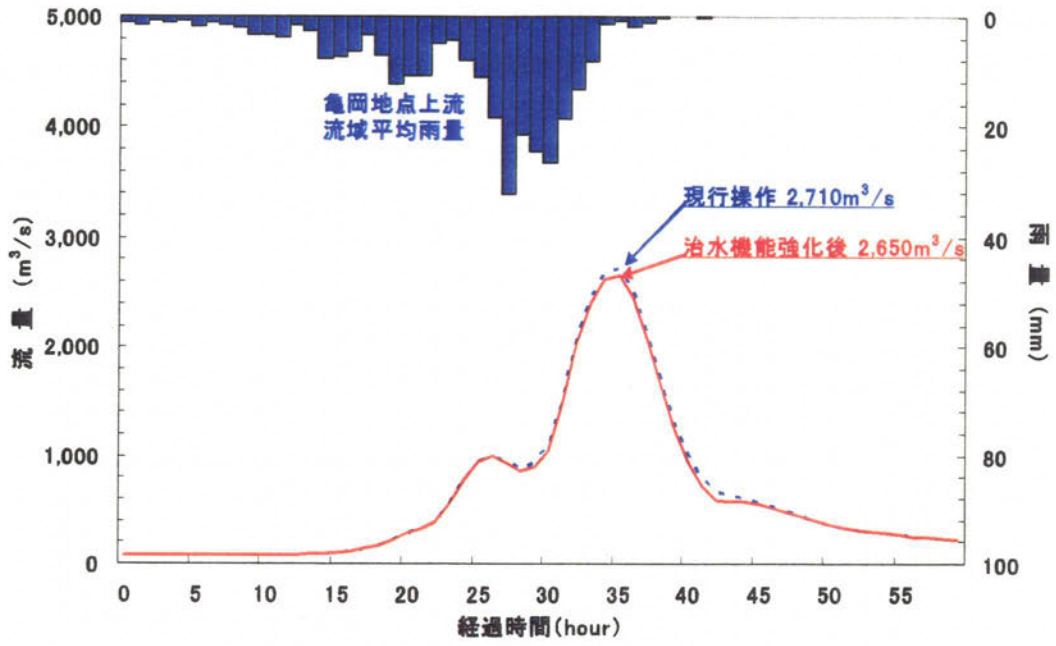
□治水に関する今後の調査・検討

- 大戸川流域は、土砂生産、流出の多い流域であるため、土砂堆積による河道の流下能力の低下や氾濫時の堤内地の土砂堆積を考慮した洪水被害の軽減に大戸川ダムがどのように効果があるか、検討していきます。
- 大戸川ダムの洪水調節による大戸川への効果は大きいですが、河道改修等のダム以外の対策案について、さらに検討が必要です。今後、コストや土砂の影響、河川環境に及ぼす影響も含め、滋賀県と調整しながら、河道改修等のダム以外の対策案を引き続き検討します。

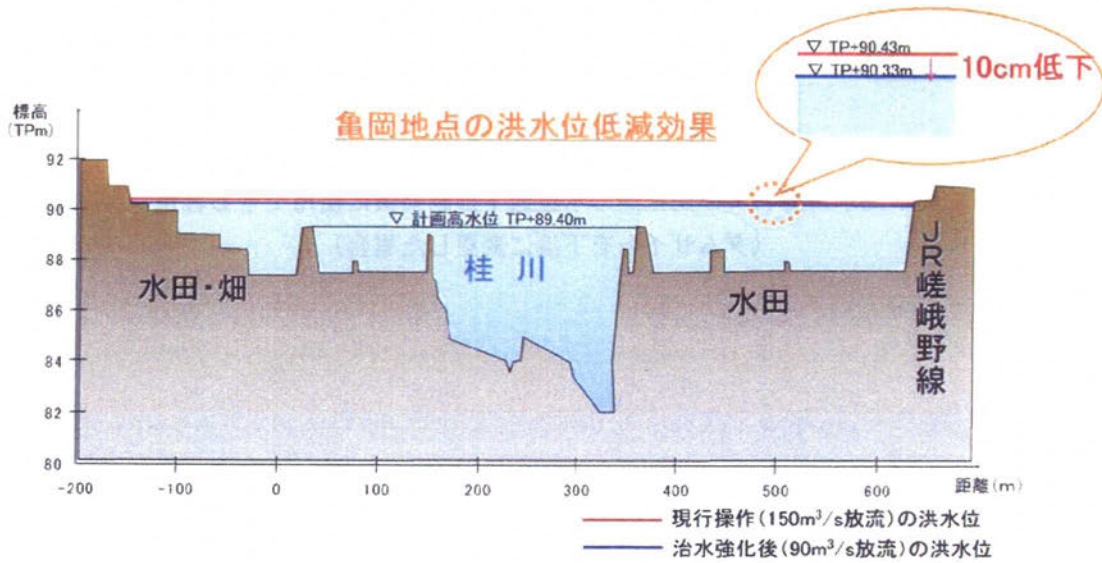
■ S28災害における土砂が現在の河道に来襲した場合のシミュレーション



30



亀岡地区の流出量低減効果 (S28.9洪水型(5313))



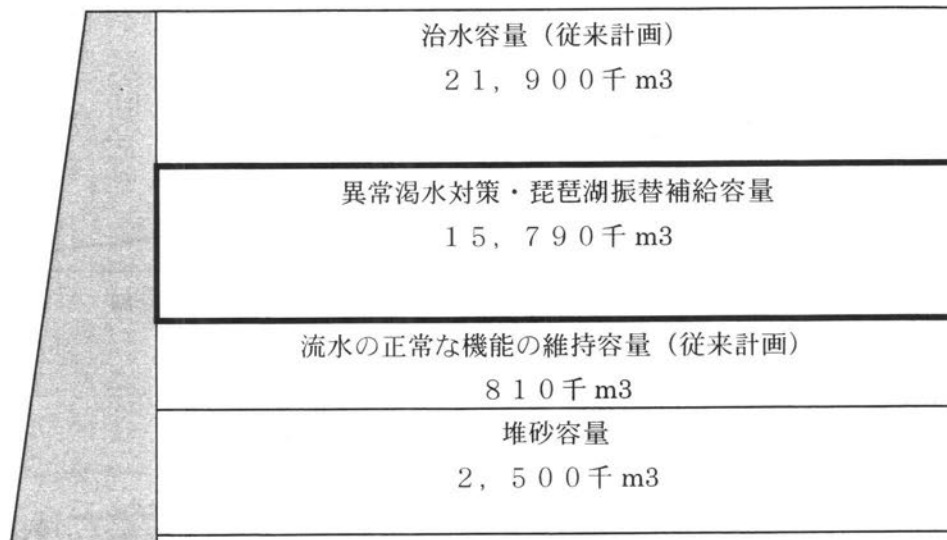
亀岡地区の洪水位低減効果 (S28.9洪水型(5313))



## 大戸川ダムによる異常渇水対策および琵琶湖の水位低下抑制対策

- ・ 異常渇水対策及び琵琶湖水位低下抑制のために貯留できる容量

現在検討中の大戸川ダム下流軸での総貯水容量を 41,000 千 m<sup>3</sup> とし、利水容量を考慮せず、堆砂容量を従来の約半分と仮定すると、貯水池容量配分を下図のように変更することができる。したがって、異常渇水対策および琵琶湖の水位低下抑制対策のために貯留できる容量（異常渇水対策・琵琶湖振替補給容量）として 15,790 千 m<sup>3</sup> 確保できる。



異常渇水対策および琵琶湖の水位低下抑制対策に使用できる容量  
（ダムサイトを下流に変更した場合）